



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISH(03)3 202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER, 2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

国際会長主題 「信念、愛、行動」
アジア会長主題 「信念と愛を持って行動しよう」
東日本区理事主題 「ワイズのらしさ再発見」
あずさ部部長主題 「垣根を低くし、活発な活動を」
東京西クラブ会長主題 「居心地の良いクラブでワイズライフを楽しもう」

2025 年 7 月号

NO 586

わたしたちは、体の中でほかよりも恰好が悪いと思われる部分を覆って、もっと恰好よくしようとし、見苦しい部分をもっと見栄えよくしようとします。見栄えのよい部分には、そうする必要はありません。神は、見劣りのする部分をいっそう引き立たせて、体を組み立てられました。

新約聖書コリントの信徒への手紙12章23-24節

やはり気持ちを新たに

神谷幸男

7月になりました。今年の暑さは異常ですが、暑さに負けず心新たにワイズライフに邁進しましょう。

今年度の会長主題も「居心地の良いクラブでワイズライフを楽しもう」とほとんど変わりませんが、気持ちを新たに更に推し進めて参りましょう。言うまでもありませんが、ワイズライフを楽しむにも肉体的、精神的に健康でなければなりません。

従来も健康増進に役立つ例会を行ってきましたが、親睦会、飲み会、ダベリング会などは例会後の二次会が少なくなったために少なくなりました。例会から飛び出してウォーキング、ピクニック・BBQ・コンサート・観劇会・意見交換会、例えば YMCA につ

いて、できれば1泊旅行など健康促進にもいいリクリエーションも考えています。高齢化が進み今まで親しくしていた友人が身体上の理由で一緒に楽しむことができなくなったことも背景にあることも否めません。

繰り返しになりますが、心の若さで楽しいワイズライフを進めましょう。



あじさい

私の家の庭には、2メートルを超えるくらいのあじさいが、花をいっぱいつけて咲いています。このあじさいは、10年くらい前にお隣から花をいただいて、咲き終わった花の茎を何気なく庭に挿していたのが根付き、このように大きくなり毎年楽しませてくれます。ブリテンが発行される頃には、花は終わっていると思いますがまた来年もきれいに咲くように、もう少し丈を低くして手入れをしようと思います。(本川悦子)



クラブ役員

会長 神谷 幸男
副会長 本川 悦子
書記 村野 繁
会計 篠原 文恵
担当主事 波々壁 賢

6月の記録

在籍者数	11人	武蔵野多摩	3人	ニコニコ	0円
出席者数	9人	たんぽぽ	3人	クラブファンド	0円
メーキャップ	0人	ビジター	1人	ファンド残高	44,715円
出席率	91%	ゲスト	1人	ホテ校ファンド	20,838円
ZOOM参加	2	出席者合計	17人	ホテ校残高	83,333円

7月合同例会のご案内

強調テーマ：

3クラブ合同例会は2年目に入りました。合同することの相乗効果を実感しましたので今年度も引き続き合同例会を継続して行きたいと思います。7月例会は東京西クラブが担当です。

7月から担当主事が波々壁賢さんに交代します。波々壁さんは1年前から毎月の例会に出席しておられましたから皆さまお馴染みですが、入会式を行います。おめでとうございます。

東京YMCAホテル専門学校生メイ・モー・ティリさんの奨学金贈呈式を行います。またショートスピーチを伺います。嬉しいひと時を過ごしましょう。

過去に東京西クラブの担当主事であった佐藤健さんをお招きして、この5月から6月にかけて実行された50日間の東日本大震災の被災地徒歩旅行で体験され、出会った地元の方々が伝えたいことなどを語っていただきます。

日時：7月17日(第3木) 18:30~20:30

会場：東京YMCA山手センター 303号室

会費：1,500円

HAPPY BIRTHDAY

16日 河原崎 和美

受付 篠原・服部・山口
司会 河原崎和美

開会点鐘 東京西クラブ会長 神谷 幸男
いざたて斉唱 一 同
聖書朗読・祈祷 村野 絢子
開会挨拶 東京西クラブ会長 神谷 幸男
ゲスト・ビジター紹介 3クラブ会長
入会式

司式 あずさ部部长山口直樹さん
留学生奨学金贈呈式 会長 神谷幸男
留学生スピーチ メイ・モー・ティリ・サンさん
(ミャンマー出身)

会食 一 同

卓話 「みちのく潮風トレイルを歩く」
佐藤 健さん(千葉ウエストクラブ)

ハッピーバースデイ 3クラブ会長
ニコニコ 一 同
連絡・報告 各 担当
閉会点鐘

東京武蔵野多摩クラブ会長 渡辺大輔

ー6月事務会報告ー

日時：6月26日(木)

16:30~17:55

会場：阿佐谷地域区民センター

出席者：石井、神谷、河原崎、篠原、本川、村野絢、村野繁

<報告事項>

◇6月例会報告・会計報告承認

◇東日本区大会出席者

神谷、篠原、高嶋、村野絢、村野繁

<協議事項>

◇ブリテン7月号編集相談

◇7月例会の相談

波々壁賢さんと望月温さんの入会式

卓話者は佐藤健さん

食事は開会点鐘の後にする

◇ワイズ集会参加予定者：

第31回アジア太平洋地域大会
(2025.8.1~3) 神谷、篠原、高嶋、本川、村野絢、村野繁
(書記・村野 繁)

会計からのお願い

前期分の会費を例会に持参か、振込でお願い致します。

振込先

みずほ銀行方南町支店

普通口座 8027928

東京西ワイズメンズクラブ



卓話者紹介

佐藤 健 (さとう・たけし) さん

1955年東京生まれ。

法政大学地理学科卒業後、東京YMCA入職。今年3月まで千葉市少年自然の家所長。杉並センター会員。千葉ウエストワイズメンズクラブ所属。

NACS-J 自然観察指導員。

1985年7月~1988年2月まで東京西クラブ担当主事。

ホテル学校奨学生

MAY MOE THIRI SAN

さん

(メイ・モー・ティリ・サン)

出身国：ミャンマー



写真左は6月合同例会、右は東日本区大会のパナー集合写真



IBC締結で参加されたインド・ハイデラバードクラブメンバーによる舞踊。鮮やかなで現代的な色使いの絹の衣装が綺麗だった

ー 6 月合同例会報告ー

6月12日(木)18時30分~20時30分東京山手センター303教室にて、東京武蔵野多摩クラブ・東京たんぽぽクラブとの2024-2025年度最後の合同例会が、お弁当を食べてから今月のお当番クラブである東京たんぽぽクラブ会長小原史奈子さんの点鐘でスタートしました。

卓話は2025-2026年度から東京たんぽぽクラブの主事に就任される望月温さんです。望月さんは「強調月間 YMCA サポート」より留学生動向紹介、各学校に入学してくる留学生の現状についてお話されました。

留学生の入学はコロナが終わって順調に回復傾向にあるが、日本語がよく話せない、留学のビザを持っていないなど課題も多いと話されました。

この後、全員でこの一年の評価、次年度に向けての意見、ハッピーバースデー、ワイズ報告、YMCA 報告、ニコニコと進み、東京西クラブ神谷会長の閉会点鐘で会は終わりました。

(本川悦子)

出席者：＜メンバー＞宮内・山口・渡辺（東京武蔵野多摩）、小原・服部・望月（東京たんぽぽ）、石井・大野・神谷・河原崎・篠原・本川・村野絢・村野繁・横山・波々壁（東京西）、＜ビジター＞樋口順英（東京グリーン）、＜ZOOM 参加＞中村吉孝（東京武蔵野多摩）・山本俊一（甲府21）

東日本区大会報告

6月7日(土)、ライトキューブ宇都宮で第28回東日本区大会が開催された。

今年は、パナーセレモニーは幕が上がると既に各会長たちが整列しクラブ名を読み上げる方式。残念なことに売店の後片付けに時間を忘れ入場が遅れて、ワイズ有志の「フィンランディア」と、小松仲史さん（厚木）のトランペットを聞き逃してしまった。

メモリアルアワーは良く編集されていて改めて悲しい気持ちが蘇る。理事・代議員報告なども映像を交えた発表により詳しく知ることができた。各種表彰のあと、IBC、DBCの締結式が壇上で行われ、特に今年はインドのハイデラバードから沢山のメンバーが参加され、その後のインド舞踊の披露もあり、国際組織であることを再確認させられた。

記念落語会は立川春の輔師匠、つかみも上手く会場は程よく温まりプログラムは終了した。

晩餐会は1階の大ホール、広すぎるからか出席者名簿が各テーブルに1枚と少なく、参加者が互いに認識することが困難で、これだけは今回残念だったこと。

4軒の名店が会場横の広場で餃子を焼き始め、参加者たちが子ども行列のように待ったことも面白い思い出になった。当クラブからは、神谷・高嶋・村野絢・村野繁・篠原の5人が参加。

(篠原文恵)

東日本区大会エクスカーショ ②「道の駅」、「芳賀温泉ロマンの湯」巡る旅

大会会場の受付前に11時に集合して、参加者を確認して、宇都宮駅東口ライトレール乗り場に移動しました。ライトレールは宇都宮市内を巡回する最新の路面電車スタイルの電車です。

市内は道路の中央を走りますが、市外になりますと、通常の電車線路を走ります。全線路の6割程を走ったあと「芳賀工業団地管理センター前」で下車して、「道の駅はが・芳賀温泉ロマンの湯」まで、バスで移動しました。12時半になっていました。

「道の駅はが」は、スーパーマーケットの商品とお土産が並べてありました。また数軒の食堂がありました。参加者はランチを楽しみました。ロマンの湯に行けば当然温泉に入れます。数人の人が湯につかりました。

15時15分、帰りは道の駅からバスに乗り、「芳賀工業団地管理センター前」からライトレールに乗車宇都宮駅東口に向かいました。16時04分に到着しました。

(村野 繁)

日々の中から フリーマーケット初体験 村野絢子

6月9日、骨密度を上げる注射の74回目（全204回）を受け、毎週通う浜田山病院への途中「フリーマーケット」の文字が目に入った。西永福では初めて！ 帰りに寄ろう。

店に入ると、レースのチョッキに150円の値札、2人の孫の着そうな短い丈の白・黒の薄手のニット、黄色のフリフリの袖付きティーシャツ、黒字に大きな貝殻模様の長そでシャツ、真珠のブローチで合計2,250円。互いに「ありがとう」と言い、帰宅した。

皆がいるところで、得意げに披露すると、「フリーマーケットってどこもそんなものよ」と興味を示さず「お母さんのベンチを仕事にしているの」と娘が言う。

我が家の入り口には門がない。家が建って数年後の台風で倒れてしまった。通行人がいなくて幸いだったが、それ以来門なしで、鉄と木製のベンチを目印に置いている。このベンチ、通りがかりのお年寄りが一休みしたり、家の中の使わなくなったものでまだ使えるものを「ご自由にお持ちください」と書いて並べた。すぐ無くなった。

雨晒しなので木が弱り、長女が、2度組み替えたが、今は壊れていて座れない。早く強い材質に変えたい。マジックでなく木の板にペンキで書こう。

さて今年の夏は葉山の息子の海小屋に行こう。その時この貝殻模様のシャツを着ることにしよう。白パンツ、袖のない黒ティーシャツかな？ と来ていた黒シャツの上に羽織ってみた。楽しい！

海にはいい！

と、急に薄焼き卵を焼くことを思い出した。クレープパンを乗せ、スイッチを入れ、溶いてあった卵液をスプーンですくって広げて入れた。あれ？ 火が付いたり消えたりするのはなぜ？ おかしい！ …なんと長袖シャツの袖口が15～16センチと長く、結ぶようになっていたのを忘れて手を通し、結ばないまま、クレープパンに向かっていたのだ。袖口のひらひらが電気のボタンの上を動かたびにスイッチが付いたり消えたりしていた。

皆に気付かれないうシャツを脱ぎ、ひとり大爆笑を飲みこみ、薄焼きを5～6枚焼いて錦糸卵を仕上げた。

後からよく見るとまたびっくり！ タグにはイタリア製シルク。それが900円だった。確かに軽い。絹のいたずらだった。

YMCA Today

■ホテル学校は7月8日に1学期が終了しました。4月から始まった新しい学校生活にも徐々に慣れ、毎日のスーツ登校も様になってきました。そして夏休みになると始まる希望制のリゾートホテル実習には約6割の学生が参加します。軽井沢、箱根、伊豆、沖縄は本島以外にも瀬底島のホテルでも行い、最近希望者が多い京都のホテルを含めた7エリア17軒のホテル・旅館で実施します。プロフェッショナルのスタッフを間近に、実践的なホスピタリティを体験する機会や、親元を離れ毎日の家事など生活面でも自立するなど、実り多い実習となるはず。様々な活動の中でそれぞれが成長する姿がこれからも楽しみです。引き続き温かい目でサポートして参ります。

■6月3日から夏期キャンプ・スクールの申込受付を開始した。キャンプは9コースが設定され、多くのキャンプが即日定員一杯と

なった。今回も「フレンドシップファンド」により、経済的に困難なご家庭には、キャンプやプールスクールの参加費を補助する。

■全国のYMCAでは40年余りにわたり水上安全教育に取り組んでいます。その一環として今年度も6月に「ウォーターセーフティーデイ」を一斉に実施。東京YMCAでは東陽町センターと山手センターで6月22日に、ウェルネスガーデン品川御殿山では6月29日に、幼児・小学生の親子を対象に、着衣泳体験や心肺蘇生法を学ぶプログラムを開催。水上安全の知識を子ども向けに紹介している「ウォーターセーフティーハンドブック」を近隣の小学校、幼稚園、保育園等に無料配布しました（東京YMCAのHPからもダウンロード可）。

担当主事 波々壁 賢

編集後記

7月初旬、本川悦子さんと共に、東京グリーンの樋口順英さんが

ボランティアガイドをなさっている東京都の「水上バス・いちにちゆらり旅」に乗船しました。

前に乗った時は隅田川だけでしたが、今回は千住から荒川遊園、岩淵水門を通り荒川に入ります。郊外の緑が多い土手は千葉県との県境になっており、テレビの「金八先生」のロケ場所もあり、なんとなく懐かしい風景が続き、ディズニーランドが見える3番瀬を埋め立てた葛西海浜公園までは荒川、ここから先は東京湾、コンテナが無数にあり、巨大なタワークレーンも10基以上ありそうで日ごろ見たことのない景色が続きました。かつて元気な時は新木場駅から恐竜が向かい合ったようなデザインの東京ゲートブリッジまで歩いたことを思い出しながら船はお台場海浜公園まで進み、レインボーブリッジをくぐりました。両国リバーセンターに着いたのは午後2時、なんと5時間のクルーズ、涼しく豪華な夏の日でした。(F.S)